

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 5 日 (2007.7.5)

【公開番号】特開 2005-338220 (P2005-338220A)
 【公開日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-048
 【出願番号】特願 2004-154334 (P2004-154334)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 1 0 2

G 0 3 G 15/20 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 22 日 (2007.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

本例の画像形成装置は、記録材に未定着画像を形成する作像手段と、未定着画像を記録材に定着させる定着手段とを有する画像形成装置である。より具体的には、電子写真方式を用いて、イエロー、シアン、マゼンタ、ブラックの 4 色のトナー像を重ね合わせることでフルカラー画像を得る装置あり、プロセススピードは 90 mm / sec、一分間の印字枚数は US レターサイズ紙で 16 枚である。また、一枚目プリント (First Page Out) までの時間 (F P O T) は約 15 秒である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

ヒーターホルダー 17 は、耐熱性の高い液晶ポリマー樹脂で形成し、ヒーター 19 を保持する支持部材と、定着ベルト 20 の内側に配置され定着ベルトの回転をガイドするガイド部材の役割を果たす。本実施例においては、液晶ポリマーとして、デュポン社のゼナイト 7755 (商品名) を使用した。ゼナイト 7755 の最大使用可能温度は、約 270 である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

定着フランジ 21 は樹脂材料、本実施例では PPS (ポリフェニレンサルファイド) 樹脂製の環状短筒状の成形部材である。端部ホルダー 25 も PPS 樹脂により形成されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 4 7 】

定着ベルト 2 0 の全長 L_{20} (図 4) は加圧ローラ 2 2 の定着ベルト 2 0 に対する当接部長さ (定着ニップ部 N の長手長さ) L_{22} よりも大きく設定してある。